2022年度第1回 研究評価委員会審議結果

(研究テーマ：中間評価)

テーマ	研究テーマ名	テーマ リーダー	内部 評価	外部 評価
1 A	地震災害の軽減や復旧に関する研究開発	野津 厚	3	3
1 B	津波災害の軽減や復旧に関する研究開発	鈴木高二朗	3	3
1 C	高潮・高波災害の軽減や復旧に関する研究開発	河合弘泰	3	3
2 A	国際競争力確保のための港湾や空港機能の強化に関する研究開発	吉江宗生	2	2
2 B	インフラのライフサイクルマネジメントに関する研究開発	伊豆 太	2	2
2 C	インフラの有効活用に関する研究開発	伊豆 太	3	3
3 A	海洋の開発と利用に関する研究開発	米山治男	3	3
4 A	沿岸生態系の保全や活用に関する研究開発	中川康之	3	3
4 B	沿岸地形の形成や維持に関する研究開発	中川康之	3	3

注) 評価評点は内部では 3:妥当 ~2:概ね妥当 ~3:要修正 外部では ~3:適切 ~2:要修正 ~1:不適切

(研究テーマ：見込み事後評価)

テーマ	研究テーマ名	テーマ リーダー	内部 評価	外部 評価
1 A	地震災害の軽減や復旧に関する研究開発	野津 厚	4	4
1 B	津波災害の軽減や復旧に関する研究開発	鈴木高二朗	4	4
1 C	高潮・高波災害の軽減や復旧に関する研究開発	河合弘泰	4	4
2 A	国際競争力確保のための港湾や空港機能の強化に関する研究開発	吉江宗生	3	3
2 B	インフラのライフサイクルマネジメントに関する研究開発	伊豆 太	4	4
2 C	インフラの有効活用に関する研究開発	伊豆 太	3	3
3 A	海洋の開発と利用に関する研究開発	米山治男	3	3
4 A	沿岸生態系の保全や活用に関する研究開発	中川康之	5	5
4 B	沿岸地形の形成や維持に関する研究開発	中川康之	4	4

注) 評価評点は内部・外部とも 5:非常に優れている~4:優れている~3:普通~2:やや劣る~1:劣る

(研究実施項目：事後評価)

No.	テーマ	研究実施項目名	研究責任者	内部 評価	外部 評価
1	1 A	震源近傍強震動の予測手法の開発	野津 厚	3	3
2	1 B	三次元漂流物シミュレーションモデルの開発と平面二次元モデルへの適用手法の検討	千田 優	4	3
3	1 C	高潮・波浪結合モデルを用いた最大級の高潮ハザードに関する研究	岩本匠夢	3	3
4	2 A	コンテナターミナルシステムへのAI、ICT等新手法導入効果の評価手法の提案	吉江宗生	3	3
5	2 B	海洋構造物の被覆防食工法における性能評価手法の開発	山路 徹	4	3
6	2 B	点検装置の作業外乱への対応技術の開発	田中敏成	3	
7	2 C	物理探査を用いた改良地盤の品質評価方法の開発	高野大樹	3	3
8	3 A	洋上風力発電施設に働く波力と洗掘に関する研究	鈴木高二朗	3	
9	3 A	多様な変動荷重を受ける洋上風力発電施設の杭基礎の水平抵抗特性の解明	中村圭太	4	4
10	4 A	浅海域における二酸化炭素吸収速度と浸水抑制効果を予測する全球動態モデルの検証	桑江朝比呂	5	5
11	4 A	アマモ場生態系の機能向上技術の開発	細川真也	3	
12	4 A	次世代油濁対策技術の高度化に関する研究開発	藤田 勇	4	
13	4 B	気候変動に伴う全球的海浜地形変化予測手法の開発	伴野雅之	4	4

注) 評価評点は内部・外部とも 5:非常に優れている～4:優れている～3:普通～2:やや劣る～1:劣る

(特定萌芽的研究：事後評価)

No.	研究実施項目名	研究責任者	内部 評価	外部 評価
1	海底液状化土砂流動が浮体式洋上風力・海洋構造物に及ぼすインパクト評	村田一城	3	
2	分級堆積構造を有する鉱滓の力学的・物理化学的特性に関する実験的研究	松村 聡	3	
3	4 Kカメラによる沿岸災害モニタリングとビッグデータ分析	田村 仁	3	3
4	2次元コードを活用した水中ロボットの自動化・遠隔化に関する検討	野上周嗣	3	
5	港湾構造物水中部の点検用水中ロボットの自動操縦手法の検討	喜寿 司	3	
6	触診感覚で評価可能なコンクリート中鉄筋の腐食探査手法の開発	橋本永手	5	5
7	シラス発泡体を用いたコンクリート用高機能マイクロカプセルの開発	小池賢太郎	3	
8	カーボンニュートラル実現に向けた港湾構造物におけるGX（グリーントランスフォーメーション）戦略の提案	中村 董	3	

注) 評価評点は内部・外部とも 5:非常に高い～4:高い～3:普通～2:やや低い～1:低い